



ふっさ防犯だより

HP

第172号

●キャッシュカードに切込みを入れる事案にご注意ください！

詐欺の犯人が警察官などを名乗り、「あなたのキャッシュカードが不正に使用されており新しいカードと交換が必要です」などと電話をかけてきて、カードをだましとろうとします。その後犯人が自宅を訪れ、「古いカードには、はさみを入れて使用できなくします」などと言って目の前で切込みを入れて、もう使えなくなったと安心させてからカードをだましとる事案が増加しています！

キャッシュカードに切込みを入れても安心しないでください！



犯人は、店番号や口座番号、ICチップなどにかからないようなカードの端に、2cmほどの切込みを入れて、もう使用できなくなったと思わせてきます。しかし、切込みを入れる場所次第ではカードの使用に影響はなく、問題なく現金を引出すことができまいます。

【被害にあわないためのポイント】

- どのような状況でも他人にキャッシュカードを渡したり、カードの暗証番号やカードの預貯金額などの個人情報を伝えたりしない。
- 犯人からの電話にでないように、自宅の固定電話を在宅時でも留守番電話設定にしたり、自動通話録音機を設置したりする。

検針を装った強盗事件が多発しています！

警視庁によると、都内でガスや水道、電気の検針を装った屋内強盗事件が多発しているそうです。

～手口～

◆犯人が検針員等を装って家を訪問してくる。家の中に入れてしまうと、犯人が「金を出せ」などと脅迫し現金やキャッシュカードを奪おうとしてくる。中には、顔面を殴打する等の暴行を加えてくるケースもある。

～被害にあわないためのポイント～

- ◆検針員が訪問してきた際は、すぐに自宅に入れることなく、各会社に確認してから対応するようにしましょう。
- ◆在宅時でも、玄関や窓の戸締りを厳重にしましょう。
- ◆犯人が訪問前に「今から点検に伺いますが家にいますか？」などといった電話をかけてくるケースがあるようです。このような不審な電話がかかってきたら、すぐに対応しないで各会社に確認しましょう。

発行：福生市役所

安全安心まちづくり課 地域安全係

電話：042-551-1691（直通）